

【初任研に関わる確認】「初任者研修の弾力的実施」に伴い、令和2年度の初任者から実施（「ソフォモア」の意味：高校や大学の「2年生」を意味する sophomore）

「ソフォモア研修」：初任研終了翌年から5年間の間に「ソフォモア研修」を受講する→（希望研修 0.5日分×3回以上受講し、五年研で発表する）

①目的：「やまなし教員等育成指標」の第1ステージに受講する研修会を体系化し、若年期教員の主体的・継続的な資質能力向上を支援する。

②時期：採用2年目から6年目の5年間で研修受講

③内容：「やまなし教員等育成指標」に基づき、自分で設定するテーマに沿う希望研修を5年間で1.5日分(0.5日×3回)以上受講し、五年研（採用6年目）で発表

【注】令和3年度から「ソフォモア研修」による研修受講開始。令和7年度の「五年経験者研修」から報告等を開始。

校外研修	初任研 (1年目)	ソフォモア研修				
		2年目	3年目	4年目	5年目	6年目=五年経験者 研修 3.0日
中・高・特別支援学校	19日	センター希望研修を5年間で1.5日分(0.5日×3回)以上受講 → ポートフォリオに記録				
小学校	19日	5年間で1.5日分(0.5日×3回)以上の研修を受講 → ポートフォリオに記録				
		小学校体育実習 3日(予定)	小学校理科実験 2日	(小学校は左記必修研修も対象研修に含む)		

※**小学校初任者**は、必修の「体育実技講習会」（例年5～7月実施、R3年度は3日で実施予定＝保健体育課より要項が出る）と「経験3目教員理科指導力アップ研修会」（例年夏季休業中に2日で実施＝大きな「研修会一覧表」に掲載）も「ソフォモア研修」の対象。

※**対象者は令和2年度の初任者からであるので、それ以前の採用者で延期して五年研を受講する者は、受講・発表を課さない。**

※ソフォモア研修の対象者であるが、産休や育休等で五年研までに復帰・受講しないまま五年研の年を迎えた者は、発表は課さないが、その年に受講する。

※他県等で初任研を受講済みの「初任研除外者（初任者研修を受けない）」も五年研は対象者となるが、他県で若年期研修を受講していれば、ソフォモアは対象外。

※養護教諭・栄養教諭も対象なので、専門職以外（例えば特別支援・生徒指導・総合など）を中心に受講し、五年研で発表する。

※6年目の発表時期が早いことと、受講の際、法定研修である初任研・中堅研が優先されるので受講ができない研修もあり得るため、**5年目までの早いうちに受講しておくことが望ましい。**

※研修記録として「やまなし学び続ける教師のためのポートフォリオ」に記録をする。（初任研についても記録する。）